



輝く南っ子

令和6年1月30日発行
銚田市立旭南小学校
銚田市樺山576-16
☎ 0291-37-0214
発行者 校長 末川 謙

「鬼は外、福は内」元気な豆まきの声をする2月の節分。節分とは、季節の分かれ目を指し、もともとは、立春、立夏、立秋、立冬の前の日を言いました。今では、豆まきの風習が残っている2月の立春の前の日だけを言うようになっていきました。立春とは、春が立つと書きます。はじめて春の気配が現れるという意味です。まだまだ寒い日々が続く時期ですが、暖かい日差しに春の訪れを感じ始める頃でもあります。学校でも、今年度の成果を確認しながら1年間の締めくくりをしっかりと行っていききたいと思います。

地域の安全を守る

旭南小学校区の防災訓練が実施されました。この日は、銚田消防署、各地区の消防団、女性消防団、市民センターの皆様が訓練に参加してくださいました。児童の皆さんも、避難訓練、消火訓練、スモーク体験、消防車見学、救急車見学を行いました。「命を守ることの大切さ」「訓練の重要性」「私たちの安全を守ってくださっている方々の努力」と多くの事を学びました。ありがとうございました。



★実際の放水を見て子どもたちは「すごい！」と目を輝かせていました。

○「書」の上達を願って

なぜ書き初めをするの？学校での書き初めは、江戸時代の寺子屋で字が上手になることを願い、今年目標や抱負を書いたことが最初とされています。南っ子も一筆一筆丁寧に書き、



素晴らしい品が完成しました。

○陶芸の大作が届きました

4年生がろくろで挑戦した笠間焼、やっと届きました。どれも、素晴らしい力作ぞろいです。茨城県伝統工芸を学ぶ良い機会になりました。



○子どもは風の子 南っ子



暖冬といわれた今年の冬も、「やっぱり冬らしい寒い日もあります」。しかし南っ子は元気です。北風、霜や氷もなんのその。子どもは風の子 南っ子ですね。子どもたちからエネルギーをもらいます。

○野球しようぜ！



大谷選手からのグローブ届きました。